

科名 血液内科 血内132

対象疾患名 移植前処置

プロトコール名 Haplo-SCT前処置 (TBI+ATG+iv-BU+L-PAM)(BU1日1回)

Rp	形態	ルート	薬剤名	投与量	時刻・コメント	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0
1			TBI	1Gy		↓	↓								
2	点滴注	側管	ソル・メルコート	125mg	サイモグロブリン投与1時間前			↓	↓						
			生理食塩液	100mL	内服前処置も行う										
3	点滴注	側管	生理食塩液	100mL	サイモグロブリン試験投与用			↓							
4	点滴注	側管	サイモグロブリン注	2.5mg/kg	6時間以上かけて			↓	↓						
			注射用水	5mL											
			生理食塩液	500mL	要フィルター										
5	点滴注	側管	グラニセトン注	1mg	30分かけて					↓	↓	↓	↓		
6	点滴注	側管	ブスルフェクス	3.2mg/kg	3時間かけて 調製後8時間以内に投与終了					↓	↓				
			5%ブドウ糖液	500mL	ブドウ糖はブスルフェクスの10倍量にする										
7	点滴注	側管	アルケラン注	70mg/m ²	30分かけて							↓	↓		
			生理食塩液	100mL	調製から90分以内に投与終了										

1コース=10日間

～MEMO～

催吐レベル3 (30%以上90%未満)

・ハプロ移植前処置

〈ブスルフェクス〉

- ・ブスルフェクスを、10倍量の生理食塩液、又は5%ブドウ糖液で希釈する。
- ・調整後は8時間以内に投与終了。
- ・痙攣予防として、フェニトインを1回 100mg 1日3回 内服する。

〈サイモグロブリン〉

・試験投与

投与初日は試験投与を行う。

- ①1vを注射用水5mLに溶解し、このうち 0.5mLをとる。
- ②①を生理食塩液 100mLに希釈し、1時間以上かけて投与。

・アナフィラキシー予防

投与1時間前に ソル・メルコート125mg静注、アセトアミノフェン 0.5g/回、ホパラミン錠 2mg/回の内服を行う。

途中アレルギー症状あれば再度追加検討。

・インラインフィルター付(0.2μ)点滴セットを使用すること。

〈アルケラン〉

- ・1vあたり専用溶解液 10mLを加え激しく振盪して完全に溶解する。
- ・調整後は90分以内に投与終了。
- ・調整後の溶液は、沈殿することがあるので冷蔵しないこと。
- ・投与前日から投与後24時間は十分な水分補給 (3000mL以上) および利尿剤の投与とアルカリ化を行なう。